

地域課題解決への支援

寄付型自動販売機

寄付型自動販売機とは、自動販売機の設置契約者さまや購入者の皆さまが飲料の購入を通じて社会との関わりを深め、社会貢献活動を支援できる仕組みをもつ自動販売機です。医療福祉や教育、環境、スポーツなど、地域に根ざした幅広い対象団体に売上金の一部を寄付することができ、様々な社会課題に役立てられます。

寄付型自動販売機
45種、
約1,600台



JOCオリンピック支援自動販売機

MOOMOO自動販売機



盲導犬応援自動販売機

ピンクリボン活動支援自動販売機

寄付型自動販売機の支援イメージ



地域活性化のお手伝い

社会福祉施設へのプレゼント

子どもたちや高齢者の方々をはじめとした多くの皆さまに笑顔をお届けすることを目的に、1968年より毎年クリスマスの時期に合わせて全道の福祉施設、子ども食堂、生活困窮者支援団体などに製品プレゼントを行っています。2020年は全道730カ所の社会福祉施設へ合計約10万本の製品を寄贈し、多くの方に笑顔をお届けしました。

社会福祉施設への製品贈呈（累計）
約349万本、
53年継続



「子ども食堂北海道ネットワーク」への寄贈

スポーツで地域に活力を

スポーツは健やかな心身に欠かせない習慣であり、たくさんの人々が楽しむことで地域の元気が生まれます。北海道全体にスポーツの力がみなぎるように、当社はプロスポーツチーム「北海道日本ハムファイターズ」、「北海道コンサドーレ札幌」、「レバンガ北海道」を応援しています。また、それぞれのゲーム観戦や選手たちとの交流などをテーマにしたキャンペーンなども展開しています。



北海道日本ハムファイターズを応援するキャンペーン

全道で地域のお祭りを支援

当社は北海道の代表的なお祭り「さっぽろ雪まつり」や「YOSAKOIソーラン祭り」で応援デザイン缶を発売して、売上の一部を各組織委員会に寄付しています。「YOSAKOIソーラン祭り」では、本社と同じ清田区にある札幌国際大学との協働で、「コカ・コーラ札幌国際大学」として毎年チーム参加しています。また「旭川冬まつり」や「帯広氷まつり」、食の分野では「北の恵み食べマルシェ」や「はこだてグルメサークス」などもサポートし、地域との関わりを大切にしています。



「コカ・コーラ札幌国際大学」の演舞(2019年)

地域の企業・団体との連携

動物園との協働

札幌市との協定に基づき、札幌市円山動物園内に「ネイチャーカフェ・アース」を開設・運営しています。2013年からは、絶滅危惧種4種（ホッキョクグマ、アジアゾウ、オオワシ、カバ）を描いた「ミニッツメイドQoo どうぶつデザイン」を発売し、売上の一部を寄付しています。2020年12月には、翌年に70周年を迎える同園を応援する「コカ・コーラ」の記念デザイン缶を期間限定で販売しました。また、旭川市とは協定に基づき、旭山動物園内に休憩スペース「やすらぎの森」を寄贈しました。その隣では動物の排泄物などを活かした循環型農業の環境教育プログラム「つながる輪のち」を行い、2020年で10年目を迎えました。さらに「あさひやま“もっと夢”基金」を支援する自動販売機を市内に設置して、売上の一部を同基金に寄付しています。



ミニッツメイドQoo どうぶつデザイン

札幌市円山動物園開園70周年記念デザイン缶



旭山動物園の循環型農園収穫祭

ふれあいボランティア除雪、地域の清掃活動

高齢や体が不自由等の理由で自力の除雪が困難な世帯に対して、除雪を通じて地域住民の方々とコミュニケーションをとりながら、地域を元気にする「ふれあいボランティア除雪」を札幌市清田区・豊平区、三笠市で実施しています。また地域の清掃活動では、札幌都心の大通公園をきれいにしようと、2013年より当社社員がボランティアで清掃活動を始め、今では多くの企業の方が参加する活動となりました。



ふれあいボランティア除雪(2019年)

※2020年は新型コロナウイルスの影響でふれあいボランティア除雪の活動は見合わせました。

職業を通してまちを知る「キッズタウン」

「キッズタウン」は、職業体験を通じて仕事の楽しさや社会の仕組みを学び、まちの成り立ちを理解しながら地元への愛着を育ててもらふ人気のイベントです。子どもたちは仮想のまち「キッズタウン」の企業や団体に就職してさまざまな職業を体験し、保護者は子どもの仕事ぶりをあたたかく見守ります。自治体や教育委員会、地元企業などの協力のもと、毎年約2,000人の子ども達が参加し、道内5都市（釧路、函館、帯広、苫小牧、旭川）で開かれています。

※2020年は新型コロナウイルスの影響で開催を見合わせました。



キッズタウンの様子(2019年)

キッズタウン参加人数(累計)
約19,400人

「ファイターズ基金応援自動販売機」の運用を開始

北海道日本ハムファイターズが取り組むSC活動（北海道の野球競技普及・振興活動の支援、怪我予防や食育講座などの費用負担や障がい者就労支援などの社会貢献活動など）をサポートするため「ファイターズ基金応援自動販売機」を設置し、売上の一部を「ファイターズ基金」に寄付することで、同基金を応援する取り組みを開始しました。



column